

かいぞう

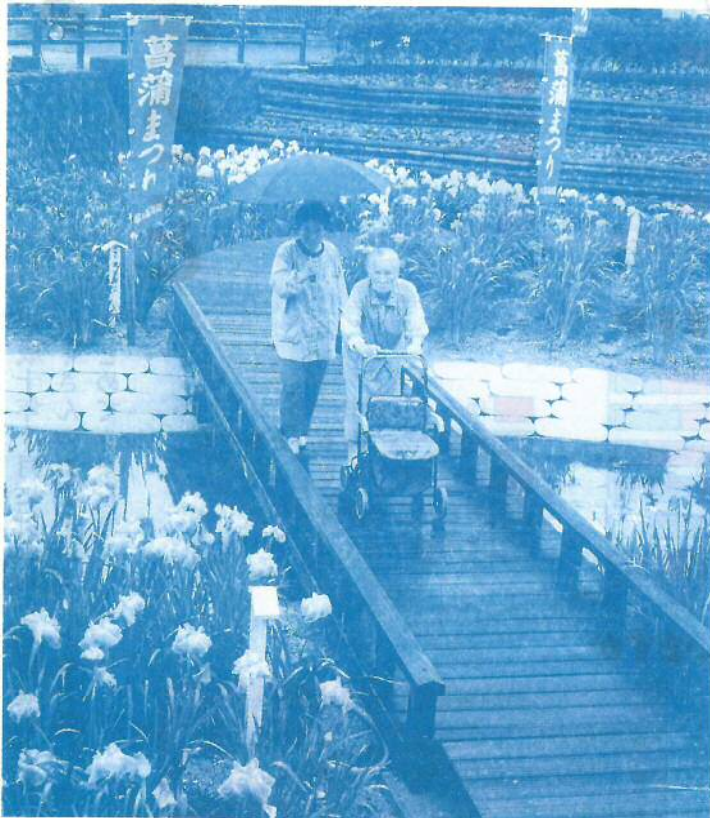
地区広報

住み慣れた地域で
老いてもなお
楽しく



年齢3区分別人口の推移 単位：%

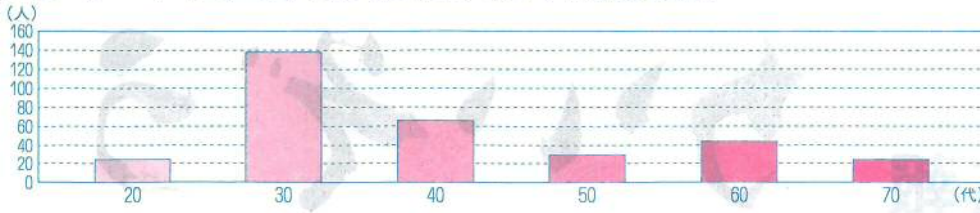
		0～14歳	15～65歳	65歳以上
平成元年	全国	21.5	68.2	10.3
	四日市	19.2	70.4	10.4
	海蔵	17.3	71.4	11.3
平成10年	全国	15.5	69.0	15.5
	四日市	16.1	69.4	14.5
	海蔵	15.6	69.0	15.4



いつまでも
ここで暮らしたい
そんな人づくり
街づくりを
めざして

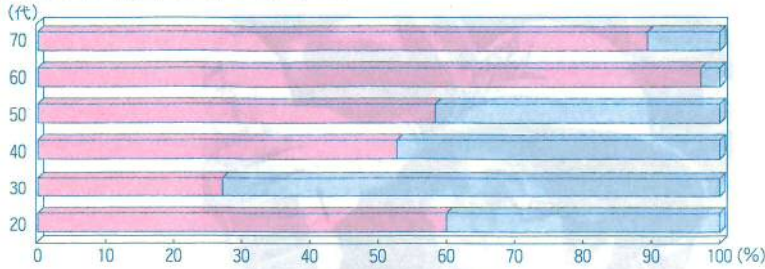
海蔵地区の人口 総数 11,431 男 5,754 女 5,677 世帯数 4,102 (2月末現在)

アンケートに回答をいただいた年代別集計



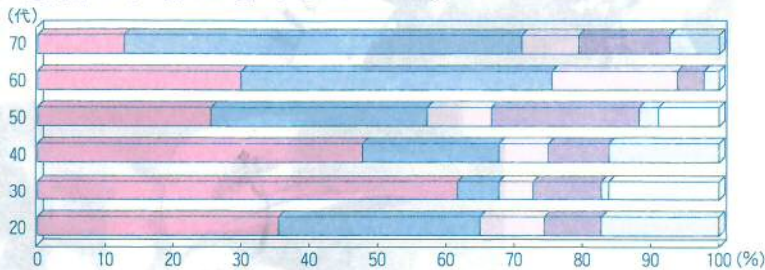
(総数332名)

◇現在同居していますか



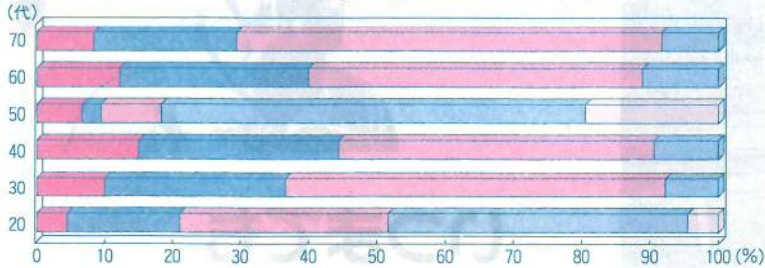
- している
- していない

◇老後は、誰と暮らしたいですか



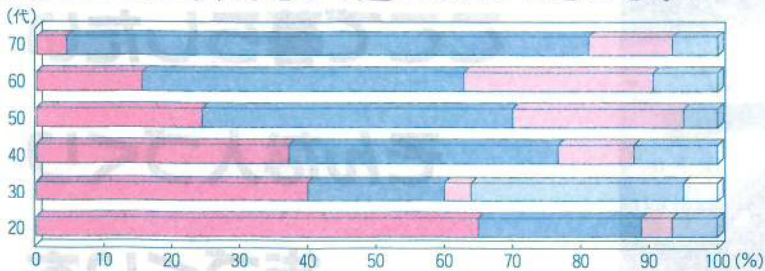
- 配偶者
- 配偶者と息子夫婦
- 配偶者と娘夫婦
- 気の合った仲間と
- 一人で
- 考えたことがない

◇何歳ぐらいからが、「老人」だと思えますか



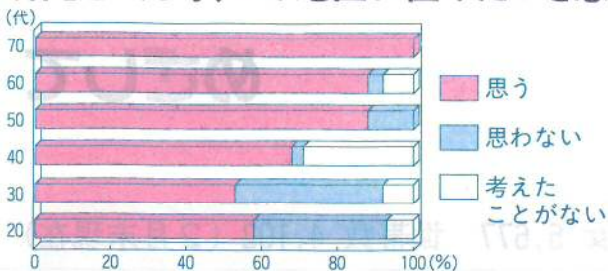
- 50歳以上
- 60歳以上
- 65歳以上
- 70歳以上
- 80歳以上

◇歳をとった時、何をして過ごしたいと思いますか



- ゆっくり自由に
- 健康の為になることをする
- 奉仕活動をする
- 考えたことがない
- その他

◇歳をとった時、この地区に住みたいと思いますか



《この地域に住みたい理由》

- 親戚がいなくても、住みよいところ
- 地域の事がよく分かり人脈があるから
- 生まれ育ったところだから
- 友達が多いから
- のんびりしていて、自然が多いから
- 知人が多く、孤独感がないから

いろいろな世代を通じて考える 高齢化社会・老後のこと

平成十年十月に行われた地区運動会の会場で
たくさんの方にアンケートをお願いし、結果を
まとめてみました。

◇あなたの生きがいは

男性



- 幸せな家庭 ○子供の成長 ○仕事
- 偉くなくとも、正しく生きる前向きな心
- ほどよい仕事、ゆっくり休養
- 家族の和 ○妻 ○釣り ○ボランティア活動
- ゴルフ ○仕事 ○健康な体で働く
- 人のためになることをする
- 家族の喜ぶ顔を見ること ○家族と仕事
- いろいろな価値観を持った人と接すること
- 旅行 ○スキー ○家族と健康で暮らせたらしい
- スポーツ ○奉仕活動 ○友人との交流
- 家族とのふれあい ○健康
- 人との和 ○趣味 ○民謡 ○社会に奉仕すること
- 安らかな余生 ○健康
- 健康 ○元気に暮らすこと ○畑仕事 ○趣味
- 家族と仲良くしたい ○ゲートボール
- 人とのふれあい ○のんびり過ごす

女性



- 子供の健康 ○子育て
- 友達と遊んで、おしゃべりすること
- スポーツ ○夫
- 子供の成長 ○健康な生活をおくること
- 食べる ○自分のことは自分でする
- 人を笑わすこと ○運動 ○友人との交際
- 家族のこと ○犬 ○楽しく生きること ○健康第一
- 子供の健康と成長
- 社会に貢献できることを見つけること
- ボランティア活動 ○趣味に生きる ○お寺巡り
- 孫と楽しく過ごす
- 明るく健康に暮らす
- 毎日健康に生活する事 ○健康で趣味を生き、人々と仲良くする事 ○健康のために積極的に外に出て、社会に役立つことをする
- 気楽なこと ○健康で一日でも永くいたい
- 人とのふれあい ○ほけぬようにすること
- 健康と趣味

(地区アンケートより)

まだまだ現役

ただいま青春真つ只中

清掃奉仕

七月二十日、小雨まじりの中、海蔵神社奉仕作業の場へ出かけました。

いつもより早く作業をきり上げて頂き、お茶とお饅頭を手に、お話をうかがいました。(でも皆さんは、ぎりぎりまで作業をされ、なかなか手が止まりませんでした)

どなたも月に一回ここへ来るのが大変楽しみと言われます。なぜですかと聞けば、「仲間とあえて、話ができるから」と異口同音に返ってきました。

仕事を振り替えて参加する人もいます。たった月一回一時間ほどですが健康に感謝し、仲間と話せる貴重なひとときのようです。この間、旅行の案内やチラシも配られ情報交換の場でもあります。

趣味は何かされていますか
「踊り...あのひとが先生だよ」
「詩吟。一人でいるときは思い切り声を張りあげて」
「俳句のプロもいます。」
「畑仕事。なすやきゅうりを採るのが楽しい」

これ迄の人生でいつが一番楽しかったですか
「そりや今ですよ。今が青春」と皆さん老人という言葉に抵抗はありませんか

「その通りやから別になんとも思わない」
「いろいろする事があってそんなふうには思ったことはない」
お茶もなくなくなったところで、そろそろ本音の一言でも聞けたらと、小グループ

に分かれて話はずみませんでした。「私は嫁が実の娘のようでも幸せ、ずっとこうしていたい」

「家族の帰りが遅いので、テレビが話相手です。でもそれではいけないので、趣味の時間にあてています。」

平均年齢七十歳以上とは思えぬ皆さんには確かに老人という言葉は不似合いかと思えますが、一方で寝込んだ時の不安は隠せないとの一言もありました。そんな時のためにも健康なうちから近所のネットワーク作りに取り組みたいと、お世話役の方のご意見は貴重だと思います。

短い時間でしたが、家庭がいかに大切でその周りの地域のつながりを固めていくことが、高齢化社会に向かう中で特に重要となる事を認識しました。もっとお話しを聞きたいと思ったものです。

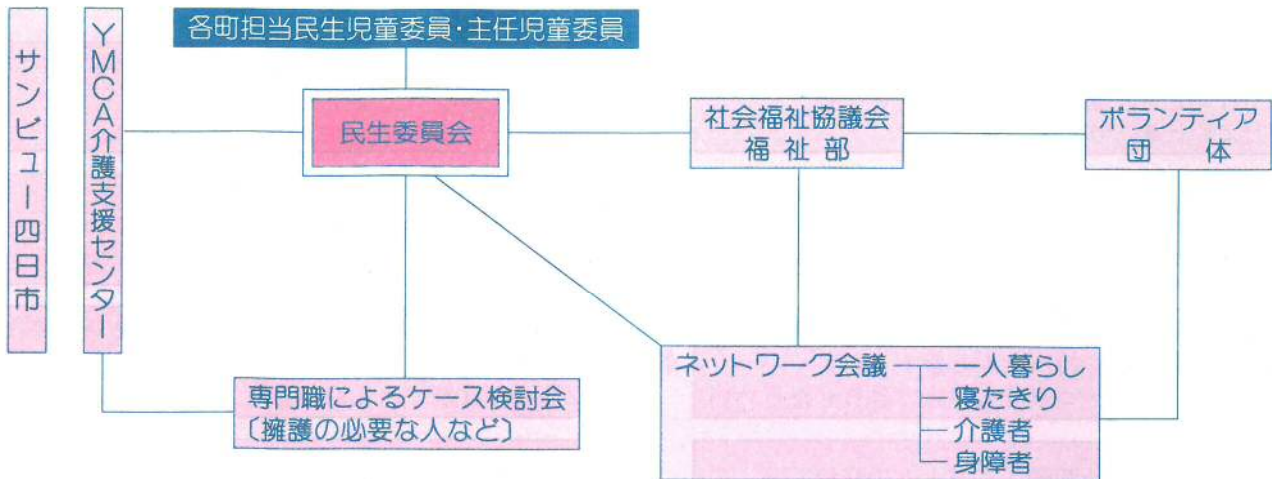


海蔵地区福祉



ネットワーク

ご存知ですか 地区のとりくみ



- ☆サンビュー四日市 (おおむね3ヵ月で自立支援・短期入所・日帰りのリハビリテーション) ☎34-3388
- ☆YMCA介護支援センター (福祉相談・介護相談・通所ディサービス・訪問給食サービス) ☎33-9830
- ☆民生児童委員会 (担当地区内の老人、児童、障害者の見守り・福祉相談など) ☎31-3284(事務局)
- ☆社会福祉協議会 福祉部 (福祉ネットワーク作り・各種福祉講座など) ☎31-3284(事務局)
- ☆人権擁護委員 (人権・その他困りごとの相談) ☎31-0303(木下建市)
- ☆若生会老人クラブ (友愛訪問など) ☎31-3284(事務局)
- ☆婦人会 (敬老の日記念品の配付・在宅介護者への慰問など) ☎31-3284(事務局)
- ☆ボランティア しらさぎの会 (話し相手・散歩など見守り・助けあい活動) ☎31-3604(代表)
- ☆山手中福祉委員会 (ベルマークの収集・社会福祉募金活動など) ☎30-0046(山手中)

つぶやき



家族としてこうしていきたい

家族として、おじいさんやおばあさんとどうかかわっていくかは、高齢化社会が進む今日考えなければならぬ問題です。

家族の中で孤立しないように、おじいさんやおばあさんのできる事をしてもらい、自分も皆のために役に立っているのだと自信を持つ事は、生きていくうえでのほりあいに必要だと思います。そして、家の中だけでなく外にも目を向け、仲間作りや趣味を持つ事も必要ではないでしょうか。わたしたちは、お年寄りにいろいろな情報を提供して、手助けしていく事が大切です。

人は誰でも一人では生きていけないのですから、共に楽しく過ごせるよう、日々努力していきたいものです。

医院訪問記



かかりつけ医もこの地域で

超高齢化が叫ばれている昨今、あるきっかけで街の医院を訪問しました。

待合いは老人の集会所の如く、実に殆どが老人で、たくさんのお患者さんが待ってみえました。でも表情が明るく和気あいあいとして世間話にハナが咲いて地域のお医者さんへの信頼感、安心感がほのぼのと感じられたものです。聞けば、先生は都会の大病院からUターンされて跡を継がれたそうです。

お年だから、長年遣った体だからと歳のせいになれてしまふ大病院とは対照的な医院。物の豊かさに代わり、「心の豊かさ」が求められている今、心も体もお任せできる地域のお医者さんこそ大切ではないでしょうか。

これから、益々高齢化が進むなか、地域にこうしたお医者さんがいる限り老人は安心して暮らせると思います。



共に支えあう やさしい街づくり人づくり



おじいちゃんとおわたし

海蔵小学校二年 女子

わたしは、おじいちゃんが大すきです。

おじいちゃんは、やすみのときは、ときどきあそびにつれていってくれます。そのときがとてまたのしみです。

おじいちゃんは、おさらをつくるしごとをしていて、つかれてかえつてくると、「せなかをふんで」と言います。ふんであげると「ありがとう」と言ってくれます。

わたしは、ふだんおかあさんや、いもつとこねています。でも、おじいちゃんのおとんでいつしよにねるときもあります。

おかあさんがゆういんしている時は、おじいちゃんがりょうりをつくつてくれます。

おじいちゃんのとくいなごはんは、あじごはんです。わたしはおじいちゃんのおつくるあじごはんが大すきです。

おじいちゃんは、はつまごのわたしをとてかわいがつてくれます。わたしは、おじいちゃんとおつこいたいのので、ながいきしてほしいです。



老人の本音

わしゃこう思う

若生会役員会取材
連合老人会会員約600人

会の目標
趣味
生き甲斐
自分の最期

健康、友愛、奉仕（元気で助け合って社会につくす）
旅行、カラオケ、ゲートボール、水墨画、俳句、ダンスと多彩
旅行に行つてバスの中、旅先でのふれあい（景色とか、ごちそうではない）
なるべく家族に迷惑をかけないように死にたい、いい老人で死にたい。家族にめいわくをかけるようなら、施設に入れてもらつてもよい。
できれば自宅から、親せき、知人に見守られて旅立ちたい。
経済は豊かになっているが、今の人たちは苦しかった時代の経験がないから、一大変事がおこつたら対処できるだろうか。権利ばかり……
世の中の変化が早すぎる。30年の間に車・情報過多社会になった。
すべて経済第一主義で、他にも大切なことがあるが、なおざりになっている。

苦言提言

シルバー社会に向けてこの地域は

「高齢化社会」という言葉は、どんな風に響きますか。例えば、痴呆老人の介護に疲れ果てて……と言うようなマイナスイメージではありませんか。だから元気なうちは関わりたくない。考えたくもないと思います。

でも、人として生まれたかぎり病老死は避けて通ることのできない問題です。自分一人が老いないことは決してありません。従つて視点を少し変えてみる必要があります。

自分が元気だからこそ、社会的弱者でもある高齢者と共に、手を携えて行動ができるのです。地域に住む全ての人が、高齢化問題を自分の事として受け止めることが必要ではないでしょうか、難しいことのようにですが、例えば一声掛け合うような、小さな「気遣い」からまず始めてみようではありませんか。

この社会には、自分とは違う色々な年齢・立場・考え方の人がいます。そのお互いを認め理解し合い、そして思いやる。優しい人間関係を構築していくことが大切ではないでしょうか。

優しさや思いやりは、練習の積み重ねによつてより深まるそうです。地域の全員が明日から、いや今日只今より「優しさと思いやり」の練習を始めようではありませんか。いずれ自分もその一員となるシルバーエイジのためにも。

ただ、「思いやる人も思いやられるひとも自分のできることは自分で」小さなそして大切なルールを守つて。



11/15 ▲こども環境フォーラム記念植樹
しだれ桜を子どもたちの手で…



10/5 ▲アートフラワー教室
一枚の布がかわいい花に変身!



12/6 ▲バリアフリーマップづくり チャリティーコンサート
老いも若きもリズムにのりました



11/23 ▲街かど花いっぱいコンクール
街を美しく花壇づくり



12/27 ▲「正月花」講習会
玄関に居間に新たな気持ちで…



11/21 ▲しめ縄づくり (文庫主催)
お正月に飾りましたか



フィナーレは、子どもの手でク
ス玉割り、「21世紀の地球は、私た
ちの手で」の言葉を全員で宣言し、
交流を深めて幕を閉じました。

戻った。

午後は婦人会の手作り弁当をい
ただき、混成チームで「エコ・ウ
オーク」海蔵川や菖蒲園に万古工
場と天然記念物いぬなしを回って
環境クイズを楽しみながら会場に

を発表しました。

最後は、地元「海蔵しぜんクラ
ブ」が一年間取り組んだ「ごみ問
題」でごみの減量や分別の大切さ
を発表しました。

こども環境フォーラム

県内のエコクラブ交流を深める

ため「みえ・こども環境フォーラ

ムinかいぞう」が11月15日に海蔵

小学校体育館で、北は藤原町から

南は伊勢市までの19団体、218

人が参加。ビデオやスライドを使

って7団体の活動成果を発表。

最後は、地元「海蔵しぜんクラ

ブ」が一年間取り組んだ「ごみ問

題」でごみの減量や分別の大切さ

を発表しました。



5/15 ▲堀川しょうぶ園の草取り
6月には見事な花を咲かせます



5/17 ▲若生会創立40周年記念式典・定期総会
まだまだ現役で頑張ります

6/7 ▼海蔵川のブイ点検
水難防止のために!



年間地区行事



8/25 ▼市長と懇談会▶
つながりを深める地域づくり...



大玉運び
お父さんと
呼吸あわせて



10/25 ▼地区連合運動会▶



綱引き頑張って



障害物競争
よくがんばったね

私たちの街では、

こんなことをやっています

地域社会づくり推進委員会、「街かど花いっぱい運動」に三ッ谷西地区も参加しました。

堀川菖蒲園の北側市道三角地に万古焼の廃材を再利用し、花壇を造りました。ご近所の方々の協力を得て水をやったり、手入れをしていただいております。花づくりを通してふれあいの場となっております。

気のせいか、最近では海蔵川河川敷を、散策したり、ジョギングされる方々を多く感じます。春には桜の花が咲き誇り、初夏には菖蒲の花が咲き、この街が日一日と住み良い環境が整いつつあることを喜ぶとともに、お世話になっている方々への感謝でいっぱいです。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。



三ッ谷西区

「海蔵の寺社」

シリーズその⑩

野田神社

今回は野田町南方の田園に囲まれて鎮座します「野田神社」をご紹介します。

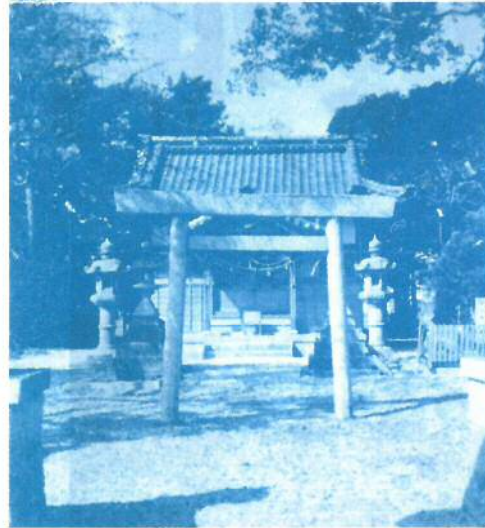
祭神は「建速須佐之男命・菅原道真」宮司は加藤貞一氏であります。

当神社は、旧幕時代午頭王社と称したが、明治以降野田神社と改称し、明治四十年神社合祀の際、天満天神社を合祀した。

氏子は野田町住民である。

天満天神社は野田半次郎氏（徳丸氏が野田と改称）がその主人の三井家から天満天神の画像を頂き、村内長久繁栄のため、明治五年（一八六八年）戌六月社祠を造営し、これを奉祀したもので古くは徳丸氏の個人の持社であった。

神社はいつも奉賛会の皆様のお世話により、年間を通して天神祭、秋の大祭、元旦祭など十一回祭礼が営まれています。



バリアフリーマップづくり

バリアフリーマップづくり
実行委員会

バリアフリーとは、社会生活の中でバリア（障壁）（段差、階段等）全てをとりはらって、住みよい社会づくりをめざす考えです。この理念は、障害のある方だけを対象としたものでなく、全ての人が自分自身の問題として関心をもつ事が重要です。

私達が住んでいる海蔵地区が障害のある人ない人、幼い子供達から高齢者まで誰もが安心して生活出来る街になるようにバリアフリーマップづくりの活動を行なっています。この活動を通じて多くの人とふれ合い、お互いの立場や考え方を知って、「この地区に暮らしてよかった」と感じるような街づくりにつながる事を願っています。

例えば道路の段差や階段は人のやさしさで乗り越えられます。この「心のバリアフリー」こそ大切なテーマです。この春そんな思いをまず、手作りマップから発信したいと思うのです。

「環境さえ整っていればボクのような体の不自由な障害者は障害者でなくなる」

乙武 洋匡 著 『五体不満足』
〈心のバリアフリー〉 抜粋

少子高齢化が進み、益々高齢者だけの家庭が増えてきています。

ほんの小さなことを行うにも大変です。「トントントンカラリと、隣組」ではないですが、向こう3軒両隣。

人情豊かな小さな福祉ネットワークがあれば、日常生活から災害時まで、大きな協力体制がとれるのではないのでしょうか。

編集後記

広報部一同